

令和4年度学校評価（学校関係者評価）

○ 自己評価結果

【A：十分である B：おおむね十分である C：やや不十分である D：不十分である】

A (4.0~3.25)、B (3.24~2.5)、C (2.49~1.75)、D (1.74~1.0) ※A=4 B=3 C=2 D=1で換算

学校関係者の皆様には右端の「自己評価の適切さ」と「改善の方策への期待」について評価をしていただきます。また、各領域の太枠に自己評価が適切にされているか等について、ご意見があれば記載願います。（記載いただく箇所は二重線内となります。）		自己評価の適切さ 4：適切である 3：概ね適切である 2：やや適切でない 1：不適切である		改善の方策への期待 A：期待できる B：概ね期待できる C：あまり期待できない D：期待できない	
領域	今年度の目標	目標達成のための評価の観点	■改善・充実の方策	自己評価	学校関係者の評価 自己評価の適切さ 改善の方策への期待
総務	1 各分掌・学年との連携を密にし、校務・学校行事等の円滑な運営と充実を図る。	1 各分掌・学年と連携し、行事予定の調整や学校行事等を円滑に進めることができたか。	1 分掌主導の組織的な学校運営を推進している。今後も働き方改革やPDCAサイクルを意識した教育活動に努める。	A 3.4	3.8 A
	2 PTA・同窓会活動などを通して、保護者・地域との連携に努める。	2 PTA・同窓会の役員会や総会等を円滑に企画・運営することができたか。	2 感染症の影響が続き今年度も一斉に集まる総会等は実施できなかったが、必要最低限の少人数の役員会や書面会議等の形で工夫して実施していく。	B 3.2	
	3 広報活動を活発に行い、長万部高校の様子を保護者・地域に発信する。	3 学校案内の作成や学校だより、ホームページの運用を円滑に行い広報活動を推進することができたか。	3 学校ホームページ等で行事や学校の様子を掲載し、引き続き教育活動を発信していく。	A 3.3	
	4 職務の円滑化に向け、環境整備に努める。	4 職務の円滑化に向け、職員室の環境整備や会議の運営、校内規定集の管理に努めたか。	4 働き方改革を意識して引き続き、会議の短時間化、資料のペーパーレス化等を推進していく。	A 3.4	
■次年度の取組		若い教員が多く、経験が少ない教員も多いため苦労している教員が多いのではないかと学校の関係者からのご意見をいただきました。若手教員に対して先輩教員や管理職からの助言等を充実させ、分掌主導の組織的な学校運営に努めてまいります。			
学習活動	1 「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善等、教授方法の創意工夫を推進する。	1 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善及び教授方法の改善が推進できたか。	1・2・3 校内研修会や教科研修会への参加、研修会ICT機器の充実を図り「主体的・対話的で深い学び」を推進していく。 4 危機管理の意識を持ちながら、個人情報等の適切な管理に努める。	B 3.2	3.8 B
	2 教授方法の創意工夫を通して学ぶ意欲を高め、「指導と評価の一体化」を進めることにより、個に応じた「わかる授業」を推進する。	2 生徒が学ぶ意欲を高め、評価の改善及び個別最適な学びを進めることができたか。		B 3.0	
	3 学習活動が円滑に行われるように環境を整備する。	3 ICTの効果的な活用を含め学習環境が整備できたか。		B 2.8	
	4 各種データ・書類の管理や発行を適切に行う。	4 データ管理や書類の発行を適切に実施できたか。		A 3.6	
■次年度の取組		生徒が学ぶ喜びを実感できるよう、ICTの効果的な活用や観点別学習評価の改善、個別最適な学びを推進するとともに、教員の校内研修会を積極的に行うなど、授業改善に努めてまいります。			
生徒指導	1 基本的な生活習慣の確立を目指し、社会に貢献できる資質の向上を図る。	1 教育活動全ての場面において、基本的な生活習慣及び社会貢献の資質向上を図ることができたか。	1 生徒指導については、分掌と学年で意識の差があったため、分掌主導で学年との連携を密に図りながら共通認識をもって指導にあたる。 2 総合的な探究の時間等において、地域と関わりをもつ活動を推進していく。 3・4 教育相談や各種調査を更に効果的に活用し、いじめ等の未然防止に努める。	B 2.9	3.8 B
	2 特別活動の充実・活性化に努め、地域との関わりをを広げ、自主性・協調性の育成を図る。	2 地域・関係機関との連携を密にし、生徒の自主性や協調性を育むことができたか。		B 3.1	
	3 健康・安全に対する意識の高揚に努め、自己管理能力の育成を図る。	3 心身の健康を意識し、自己管理能力を育むことができたか。		B 3.1	
	4 思いやりを持った豊かな人間性の育成に努める。	4 いじめに係る未然防止と早期発見、早期解決を実現できたか。		A 3.5	
■学校関係者の意見→ (自己評価は適切か)		いじめ等の早期発見・早期解決等、生徒が安全・安心な学校生活を送るため、生徒・家庭との連携を密にするとともに、生徒の自主性や協調性を育むために地域との関わりをもつ活動を推進してまいります。			
進路指導	1 小中高大の連携により、組織的・系統的な「地域課題解決型キャリア探究」を推進する。	1 「地域課題解決型キャリア探究」の推進に向け小中高大の連携が実施できたか。	1 感染症の影響はあるが、工夫して小中高の総合的な探究の時間の発表会や小中高の教員で研究授業を実施していく。 2 進路指導部が主導となり、進学講習や公務員講習等の充実を図る。 3 町研サークル等での交流を通し、小中高で有効に活用できるキャリアパスポートの改善に努める。 4 進路指導部と学年が連携し、早期の三者面談を実施する。	C 2.2	3.8 B
	2 全ての進路希望に対応した指導・支援の一層の充実により、生徒の進路実現を図る。	2 生徒の進路実現のため、指導・支援を充実させることができたか。		B 3.0	
	3 検定試験、資格試験等の励行により、生徒のキャリアアップを図るとともに、中高一貫連携した「キャリアパスポート」を作成し、継続的できめ細かな支援を推進する。	3 「キャリアパスポート」を継続的に校種をまたいで作成し効果的に活用できたか。		C 2.2	
	4 保護者や関係機関との連携により、円滑な進路指導と情報提供を行う。	4 保護者・地域との連携により円滑に進路指導を実践できたか。		B 2.7	
■次年度の取組		新型コロナウイルス感染症の影響で教育活動が制限される中で思うように地域と連携した総合的な探究の時間の活動を実施できなかったが、引き続き小中高が連携した総合的な探究の時間の発表会の実施等、工夫して地域と連携した活動を実施してまいります。卒業までに卒業生全員の進路は決定したが、引き続き進路指導部が主導となり、進学講習等の充実にも努めてまいります。			
健康安全指導	1 健康の保持増進と健全な生活を営む態度・習慣の育成を図る。	1 様々な事態を想定した安全教育の工夫・充実が図られたか。	1・2 生徒理解を基本とした生徒指導のために、カウンセリングやコーチングに係る研修への参加促進に努める。保健の授業やほけんだより、健康安全に係る外部講師の活用等により、自らの健康管理に係る意識の向上に努める。 3 学年と連携して、共通認識のもと学習環境の整備に努める。	A 3.3	3.8 B
	2 安全に対する意識の高揚に努め、自己管理能力の育成に努める。	2 心身の健康を意識し、自己管理能力を育むことができたか。		B 3.1	
	3 学習環境を整えるために、校内内外の美化活動の徹底を図る。	3 清掃活動の徹底により、学習環境を整備できたか。		B 2.9	
■次年度の取組		今後も生徒が安全・安心に学校生活を送ることができるように、養護教諭と担任の連携、スクールカウンセラーとの連携に努めてまいります。			
学校運営	1 保護者及び地域から信頼される学校づくりの推進。	1 関係機関との連携や学校だよりやHP等を活用し、適切な時期に教育活動の成果等を伝えることができたか。	1 学校ホームページ等で行事や学校の様子を掲載し、引き続き教育活動を発信していく。 2 職員会議や打合せ等において、情報共有を図ることや、不祥事防止の啓発に努める。 3 授業改善についての校内研修会の実施や教科研修会への参加について啓蒙する。	A 3.3	3.8 A
	2 学校経営参画意識の向上。	2 常に危機管理を意識し、職員会議や分掌・学年等の打合せ等を活用し、情報共有に努めたか。		B 3.1	
	3 日常的な研修の推進。	3 各自がテーマを持ち、授業研究週間や校外での研修会、講習会等に積極的参加したか。		A 3.3	
■次年度の取組		広報活動につきましては引き続き学校ホームページ等で学校の様子を掲載して教育活動を発信してまいります。生徒が安全・安心に学校生活を送ることができるように、教員間での連携を密にするとともに危機管理意識の向上に努めてまいります。			